

## II 調查結果

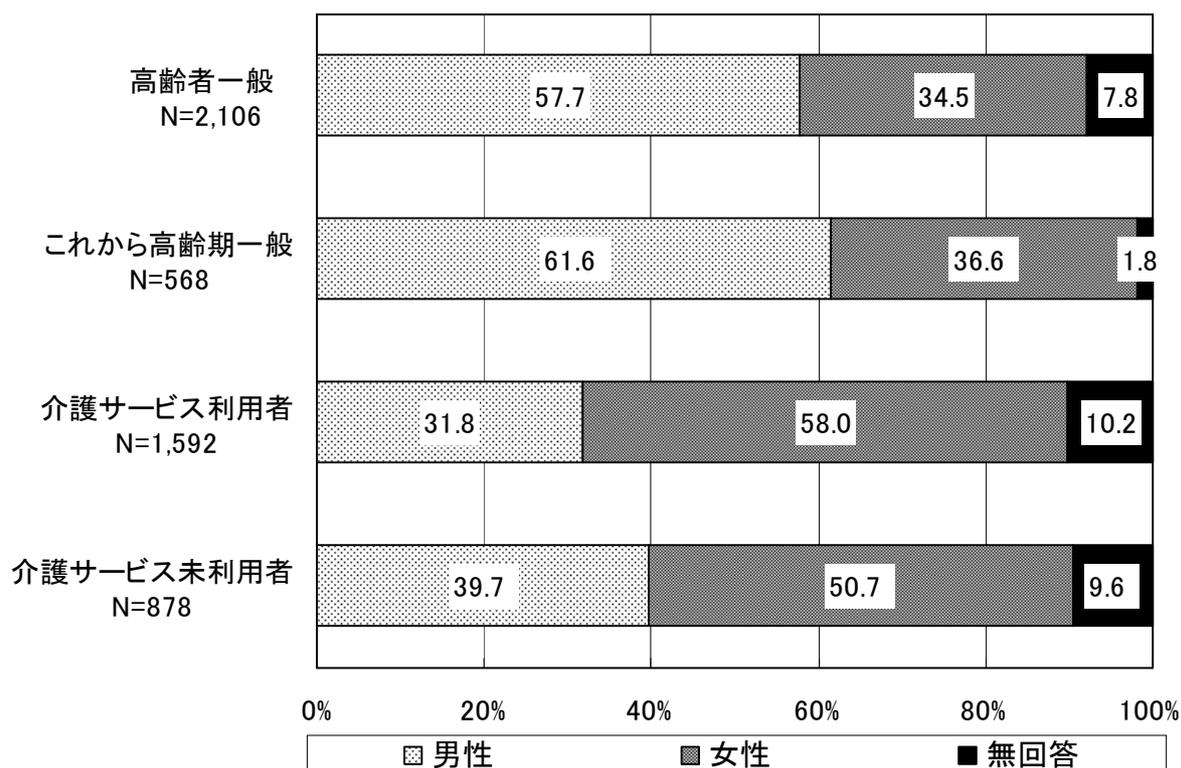


# 1. 回答者属性

## (1) 性別

ア. 回答者の性別は、高齢者一般とこれから高齢期一般では、男性が6割前後と多くなっている。

イ. 介護サービス利用者と介護サービス未利用者では女性の割合が高くなっている。



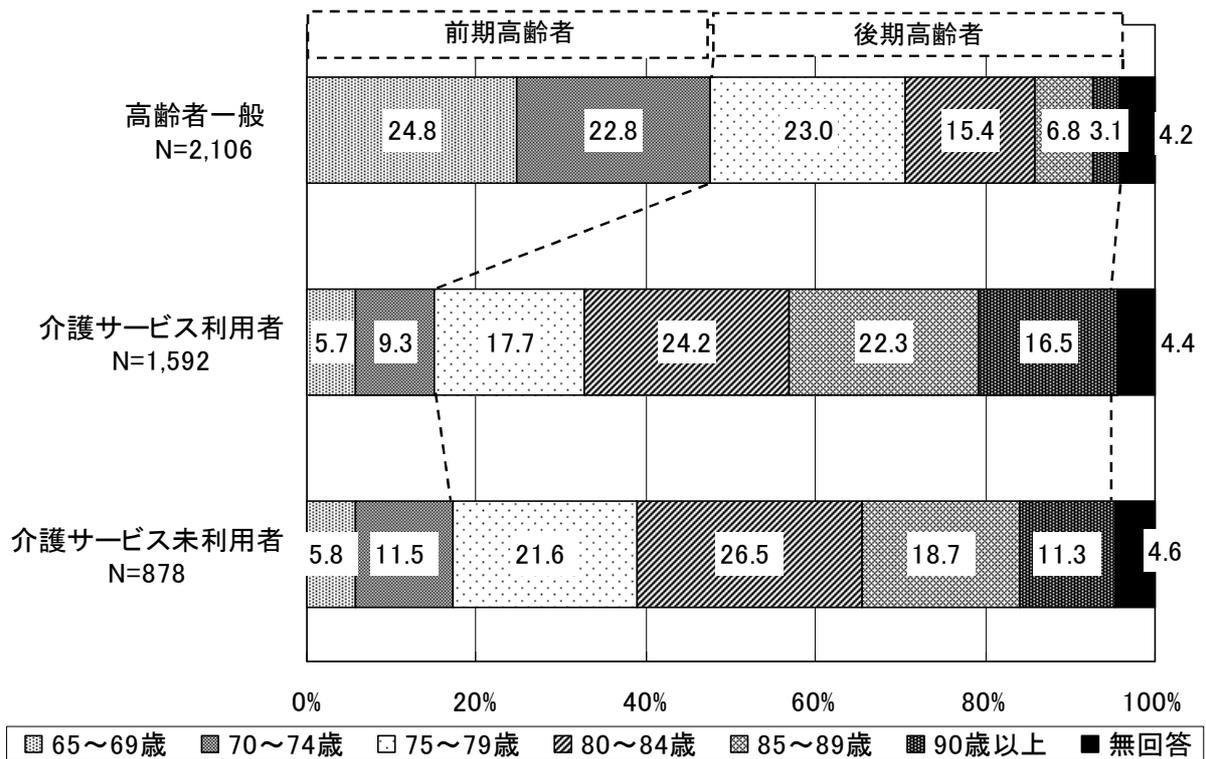
図表1 回答者の性別 (単数回答)

## (2) 年齢

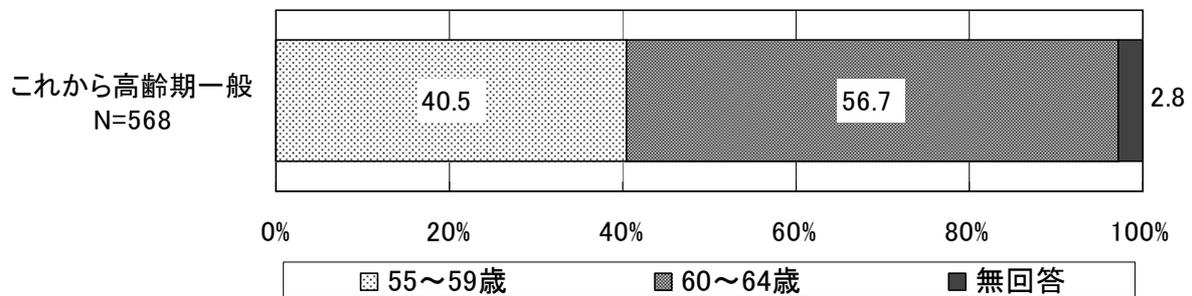
ア. 回答者の年齢層分布は、高齢者一般では前期高齢者と後期高齢者の割合が同程度となっている。

イ. 介護サービス利用者、介護サービス未利用者では後期高齢者の割合はともに8割程度となっている。

ウ. これから高齢期一般では55～59歳の割合が4割強、60～64歳の割合が6割弱となっている。



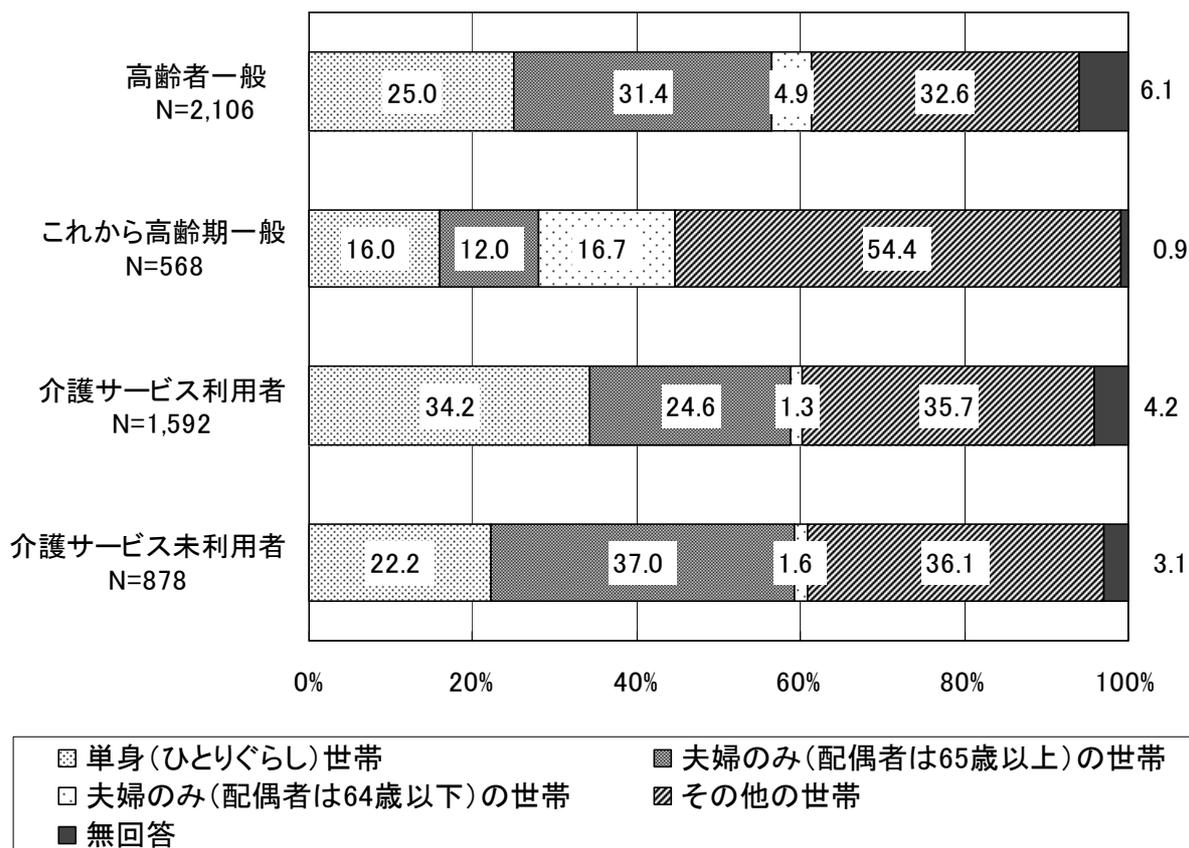
図表2 回答者の年齢 (単数回答)



図表3 回答者の年齢 (単数回答)

### (3) 世帯構成

- ア. 高齢者一般は、「単身（ひとりぐらし）世帯」と「夫婦のみ（配偶者は65歳以上の世帯）」で過半数を占めている。
- イ. 単身（ひとりぐらし）世帯の割合をくらべると、介護サービス利用者が34.2%と最も多い。



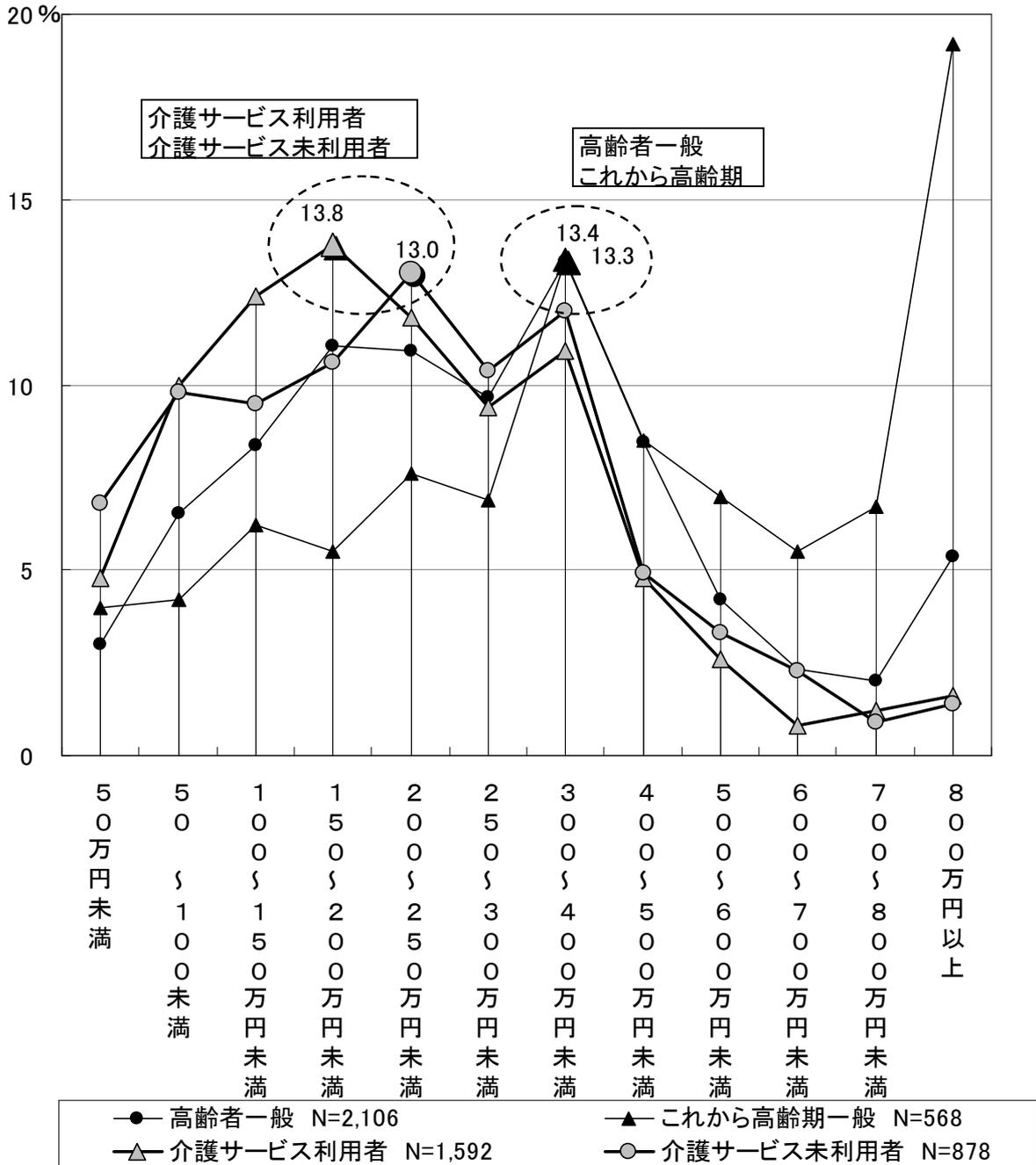
図表4 世帯構成（単数回答）

#### (4) 年収（本人＋配偶者）

ア. 本人および配偶者を合わせた年収総額（税込額）をみると、高齢者一般およびこれから高齢期一般では、「300～400万円未満」で山がみられる。

一方で、「800万円以上」の割合も高い。

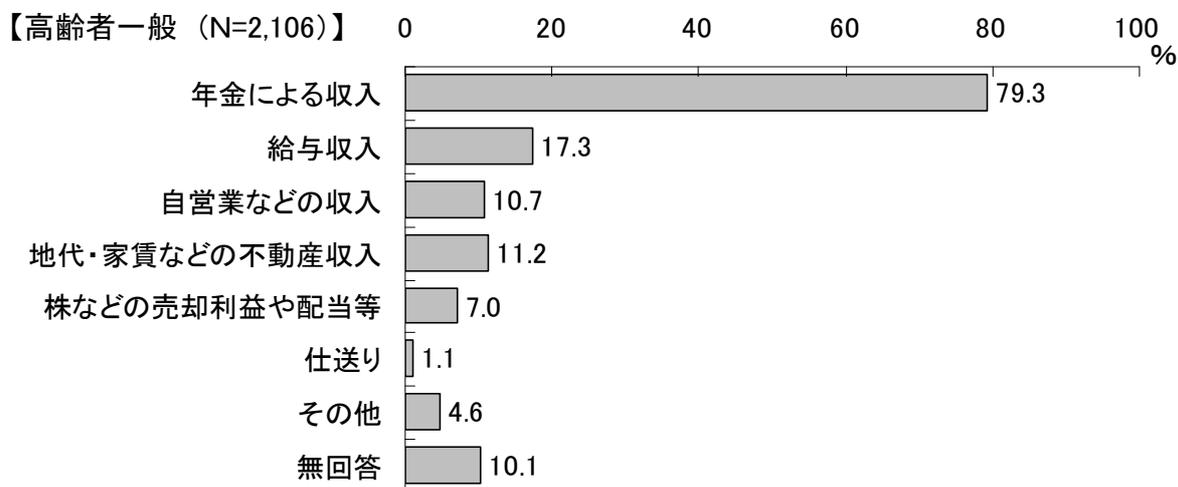
イ. 介護サービス利用者および介護サービス未利用者では、「150～200万円未満」と「200～250万円未満」で山がみられる。



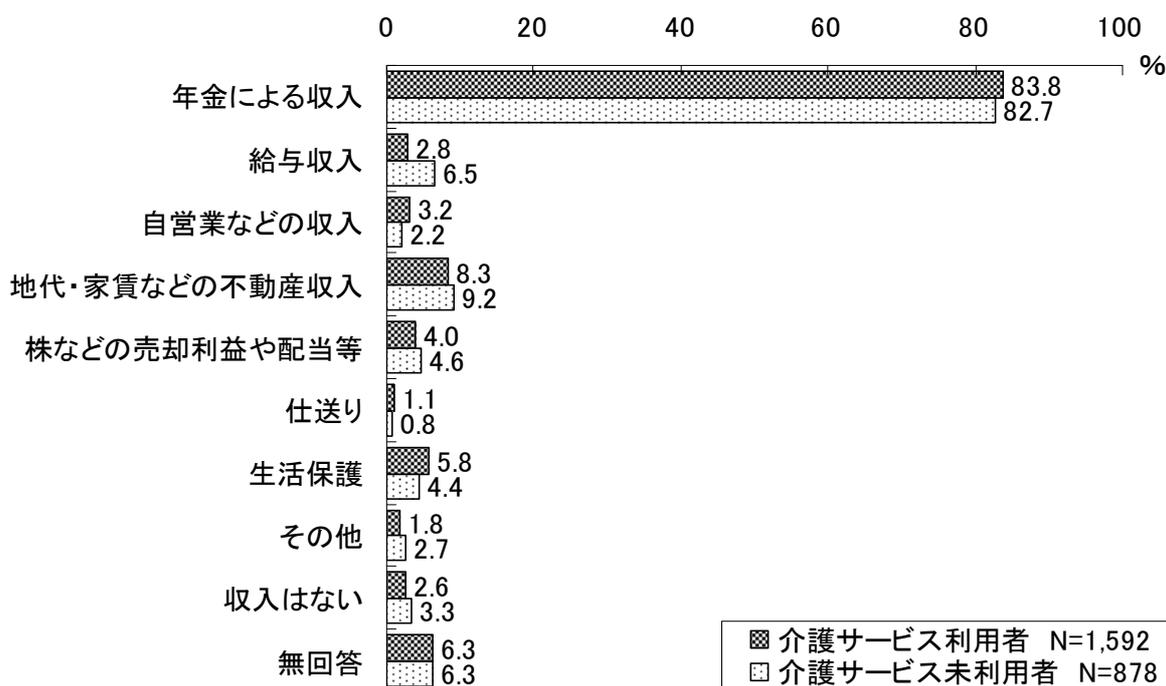
図表5 年収（単数回答）

## (5) 収入源

ア. 収入源をみると、高齢者一般、介護サービス利用者、介護サービス未利用者ともに「年金による収入」が高い割合である。



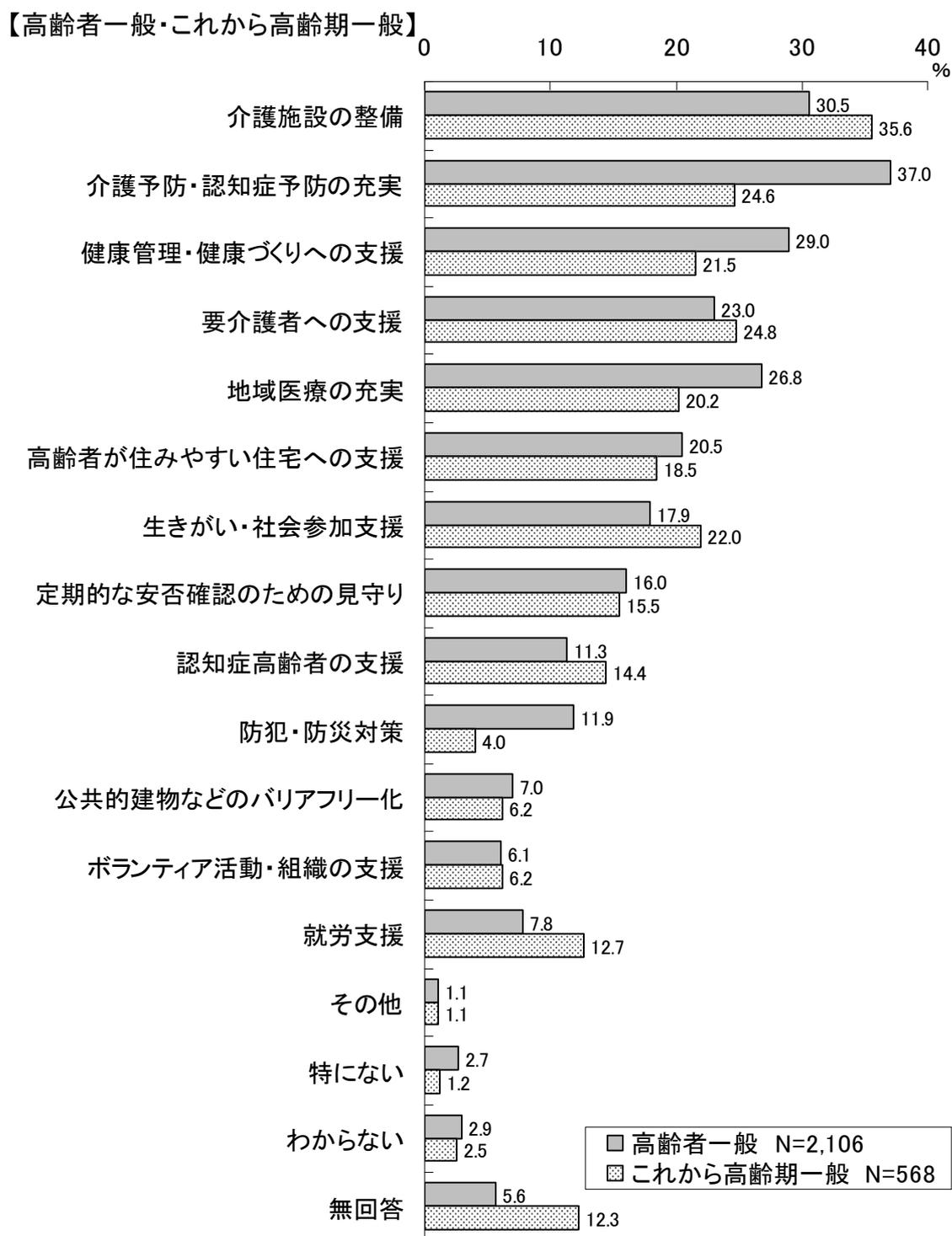
図表 6 収入源／高齢者一般 (複数回答)



図表 7 収入源／介護サービス利用者・介護サービス未利用者 (複数回答)

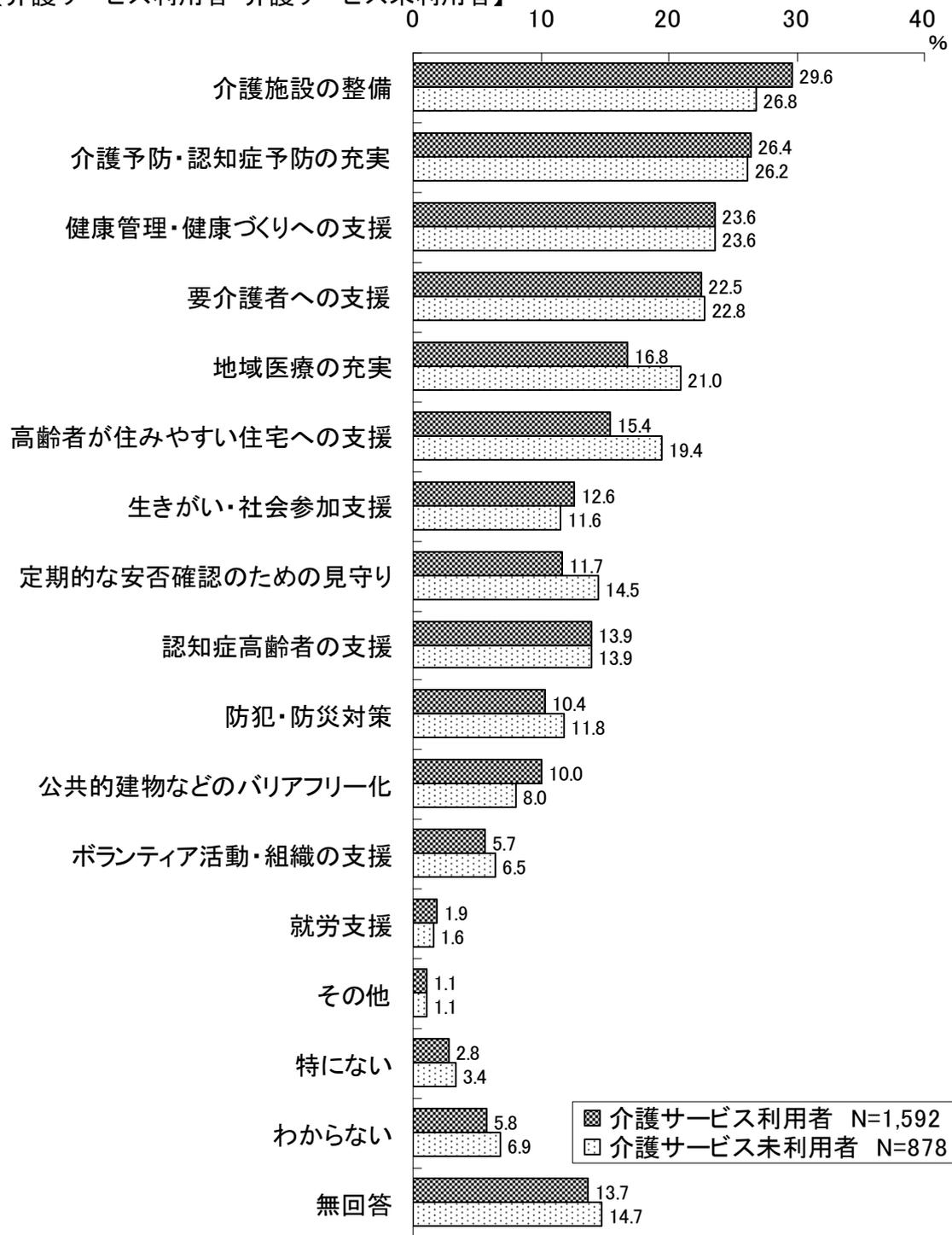
## (6) 今後力を入れて欲しい高齢者施策

ア. 今後力を入れて欲しい高齢者施策については、高齢者一般、これから高齢期一般とも特別養護老人ホームなどの「介護施設の整備」「介護予防・認知症予防の充実」の割合が高く、このほか「健康管理・健康づくりへの支援」「要介護者への支援」、「地域医療の充実」も上位にあげられている。



図表 8 今後力を入れて欲しい高齢者施策（複数回答）

【介護サービス利用者・介護サービス未利用者】



図表9 今後力を入れて欲しい高齢者施策（複数回答）

イ. 高齢者一般について、4つの日常生活圏域別に意向をみると、他の圏域と比較して、高い傾向がみられる施策が異なっている。

練馬・・・「要介護者への支援 (26.1%)」

石神井・・・「介護予防・認知症予防の充実 (39.5%)」

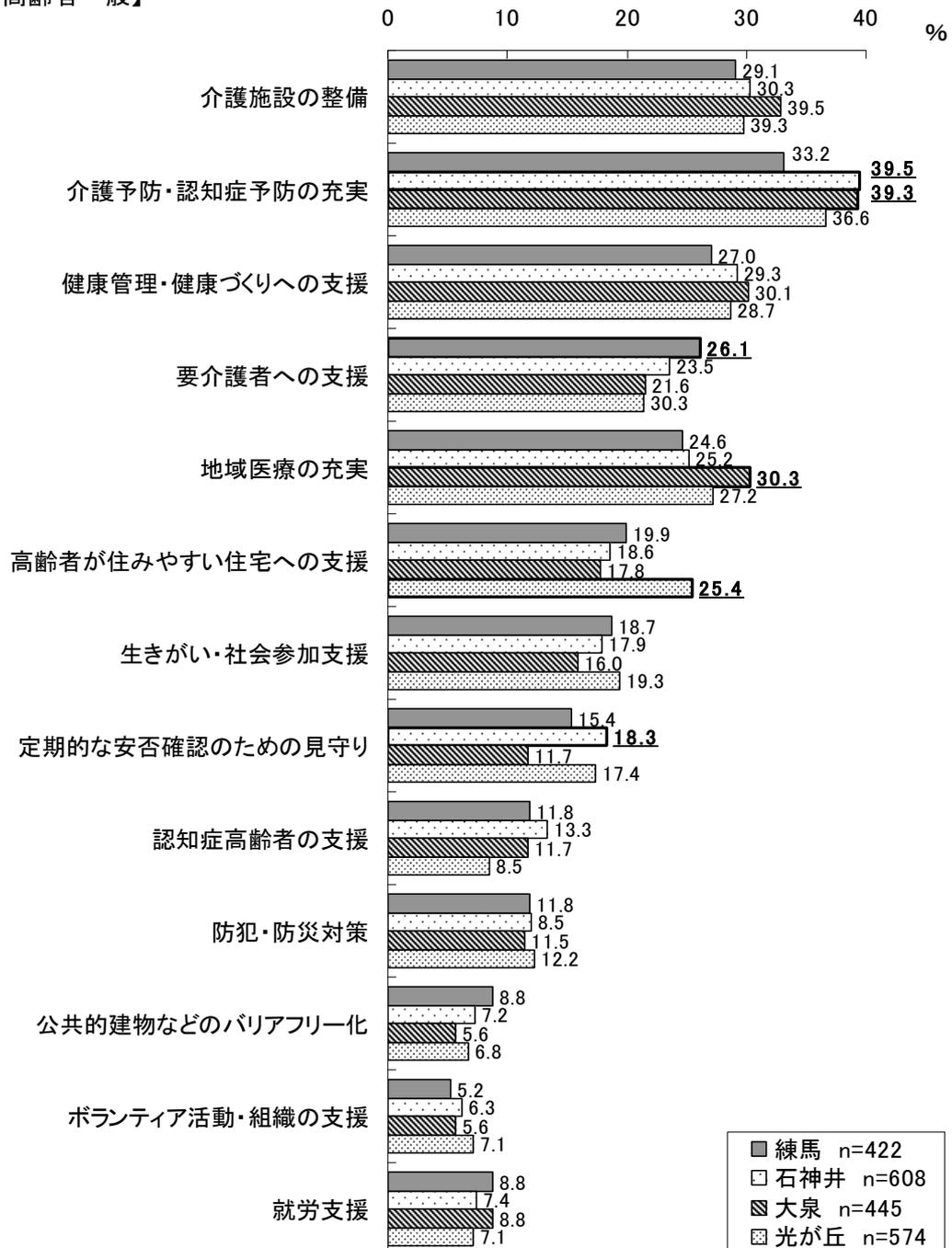
「定期的な安否確認のための見守り (18.3%)」

大泉・・・「介護予防・認知症予防の充実 (39.3%)」

「地域医療の充実 (30.3%)」

光が丘・・・「高齢者が住みやすい住宅への支援 (25.4%)」

【高齢者一般】



図表 10 日常生活圏域×今後力を入れて欲しい高齢者施策（複数回答）